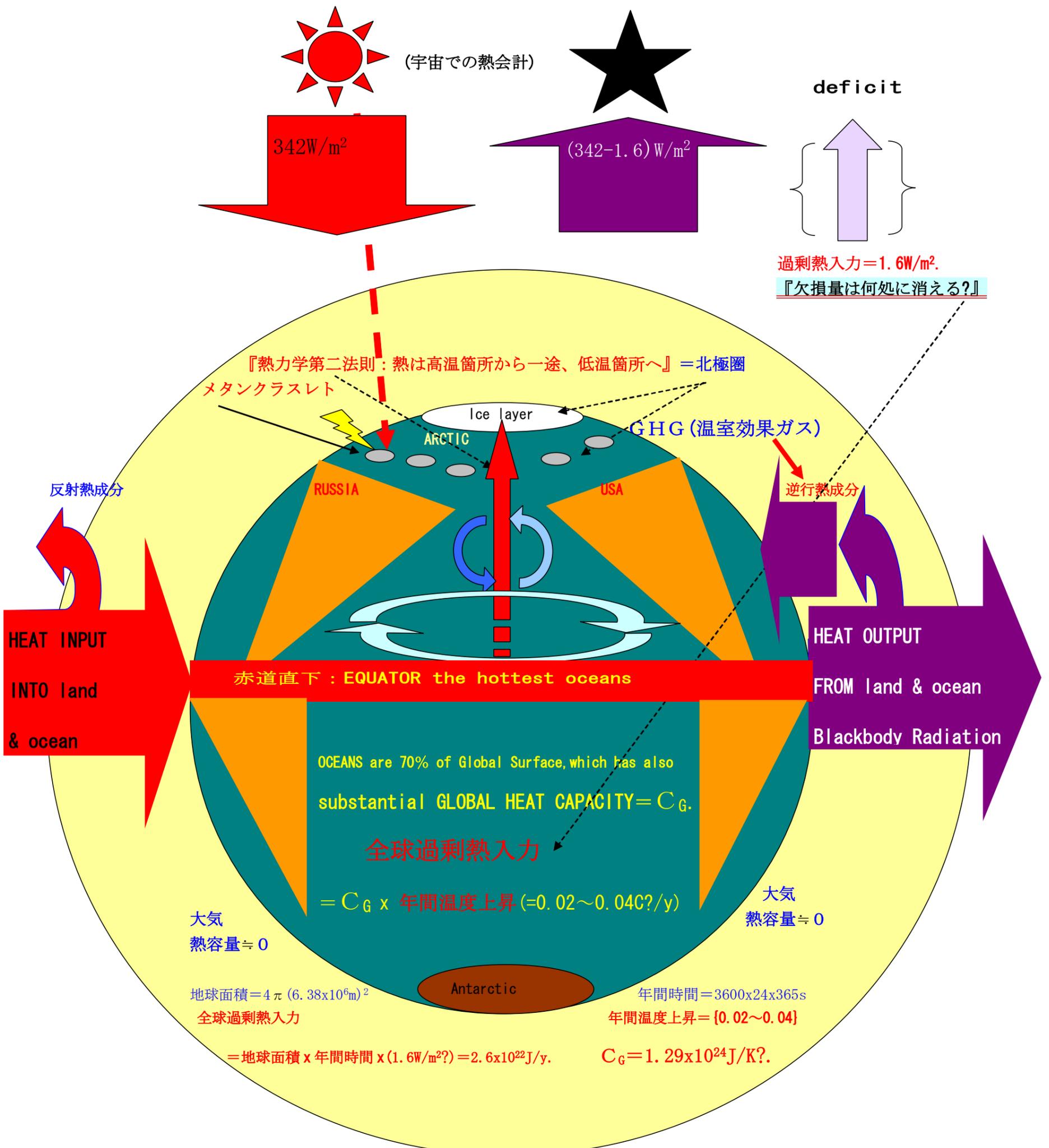


北極海底メタンハイドレード 10 ギガトン融解は過去二酸化炭素 105ppm 増大と等価の効果 (全球 1 度 C 上昇、それでアフリカ、オーストラリア大干ばつ地獄、南洋諸島等水没進行、強度化ハリケン...). 其のメタンハイドレードが北極には『推定埋蔵量 500~1000 ギガトン¹⁾、これが海底温度上昇²⁾での融解は二酸化炭素の数十倍強力な全球温度上昇に作用、それは更なる融解を促進、この結果が原因を促進する **正帰還循環** に一度陥ると、全量融解まで停止しない、其の時の地球は **6 度 C 以上** (後に再論³⁾) の **火炎熱地獄**、熱細菌程度しか生き残らない!!!』



*地球面積 x 年間時間 x (太陽生入力熱=342W/m²) = 5.6x10²⁴J/y.

*1KW を 50 億人が年間フル稼働でのエネルギー=(1000W) x 3600x24x365s x (50,000,000) = 1.6x10²⁰J/y.

一 気候変動危機の一括全貌(思想的“裏側の事実”編) 一

- *講和の時代は歴史の白紙ページである、この退屈さは人間に相応しいものでない、
- *常時、敵を設定しての永久闘争路線、..... G. W. Hoegell.
- *全てが”逆さま”になる諜報の世界、..... Allen. Daress.
- *神は天使たちにアダムの前にひざまずく事を命じる、だがサタン一人が背く、...
貴方は奴を土からお作りになられたが、自分は無煙火から作られた、あの下賤には頭は下げられない。..... 聖書外伝.

①科学真相は世界的隠蔽操作にある：個人的回想：〈非平衡熱統計力学と不可逆性、資本主義、真空超常世界、予言〉：

筆者は30代末期に物理学者転業、だが終に公職はなかった。理由は準政治的、過去に左翼関係で外資企業下弾圧経験がある、他一つは物質科学基礎での結論が当時に言う環境破壊元凶の世界資本主義政策に沿わなかった事だ。熱は高い所から、低い所へ流れ、其の時間逆行はあり得ない、だが物質基礎の運動方程式は時間可逆も許すと主流派物理学者は見てた。実は基礎方程式(Schroedinger 方程式)は古典力学的な因果律方程式でなく、随時確率分岐して行くのだった(確率過程力学)。たかがこれだけの話と思いきや、実は世界学者重鎮を登場させて、某通信会社が反不可逆性広告を大々展開には仰天、御蔭で生活に困る様にもなる。『ここで初めて判明した事は世界の科学世界は一権力意思の下の支配下にある事実、{日本国内、米国、欧州}こぞって論文公刊拒絶』。実は確率起源を探ると科学根幹=論理学関与が判明、自然現象統計理論記述での確率起源では神はサイコロを振るのだ(特異点不可知性： $1/0 = \infty$ (無限)?)。だが話はもう一度大逆転。

②物理真空世界は矛盾超常世界(物質世界の自明な無矛盾性≡肯定場面と否定場面の同時W実現不可能性)：

中国古典によればある商人曰く『この槍は如何なる矛も破る、こちらの盾は如何なる槍にも敗れない』、そこで一客人曰く『其の槍で其の盾を突いたらどうなる?』、確かに現実世界ではいずれか一方のみが実現、他方は同時に起こらない。ところが物質世界の逆=物理真空世界では大逆転、肯定場面と否定場面双方が同時実現、論理破綻は何でもあり(全知全能)の魔法超常世界!!。ちなみに物理真空世界の矛盾性は無から素粒子と反粒子が同時生成して、すぐに無に戻る反応が世界公認されてる($0 = +a - a$)。無からの有は明白に日常論理に反するのだ。『無は無であって無でない』、あるいは『無から生まれる宇宙とは生まれる前に何の法則もない超法則世界だったから!!』。

..... 『神は世界を無から創造された』 コラーン.....

③超常識現象、予言には科学的メカニズム(超常世界との通信, 移動)がある<<http://www.geocities.jp/sqkh5981g/slavejapan.pdf>>

④気候変動危機は人類淘汰の陰謀、だが大誤算で自滅！<米国極右=軍産C I A複合体支配の悪魔思想〉：

(1)<http://pegasus.phys.saga-u.ac.jp/kb/EisenhowerAddress.Html>..... 米国アイゼンハワー大統領退任演説(1961).

私たちは、地球的な広がりを持ち、性格的に無神論で、目的追及において冷酷で、その方法において狡猾な敵意あるイデオロギーに直面しています。

(2)地球(気候)科学真相は大マスコミ世界で隠蔽にある!!! (世界資本主義政策：環境破壊推進と人種淘汰!?)。

(a)2007年末、ブラジル人預言者 Jucelino 氏が気候変動危機を力説、書籍では2043年人類80%絶滅予言、上記③如く筆者は予言の重大性認識にあるので以後、気候変動問題従事、WWWで気づいた事は一部真摯サイトの一方、かほど危機に関わらず重要情報があいまい、IPCC(気候変動政府間協議)報告の“長文論理もうろうさ”には怒りを感じる程、されど他にあてなし!。地球0次元模型(太陽入射熱量=地球冷却放射熱量)は国内学者から教わった、海外は物理等式での解説が殆どない。かくて気候科学世界は物理以上ではの懸念、案の定、J. Kenett(メタン引き金説)が其の旨を告発!、米国地球科学パイオニアのJ. Hansenもネット上で公権力の弾圧を証言、Bush極右時代は米環境科学等は闇世界だったのだ。

(b)国公立大には大方、地球科学科が設置、だが研究員メニューを見て仰天、かほどの危機に気候変動専門家数の異常に少ない事!!!、

英国報道は環境問題重視姿勢、日本-米国大手はひどい、だが米国は小口では辛口が結構ある、小口すら甘口ばかりの日本は最悪、

(c)IPCC バレンシア 2007/11/17 日声明抜粋 {P53} : 人為温暖化気象変動の大きさ-速度次第で不可逆、又は急激な変動招来する危険がある。現状趨勢が持続すれば助からない事(不可逆, 急峻)が起こり得ると言う警告。科学者報告はIPCC上層検閲を経て世界声明される。関係科学者の精一杯の抵抗?。具体現象事実(メタン破滅)の言及は何と無いのだ、http://www.ipcc.ch/pdf/assessment-report/ar4/syr/ar4_syr.pdf

(d)気温上昇地獄を具体表現したのはこの英国サイト一つ? !!: <http://www.timesonline.co.uk/tol/news/uk/science/article1480669.ece>

(3)最終(生存闘争)作戦(operation END GAME)。

operation END GAME:<http://www.prisonplanet.com/> : 新世界秩序の為に世界政府が始動、一度彼らが地位に着くと世界人口80%削減計画に従事できる、他方エリートはハイテクでの生き残り可能性を、聖戦映像家 Alex Jones が初めて明かす人間絶滅秘密計画。一見荒唐無稽、だがアフリカでは気候変動大旱魃飢餓と米陸軍開発人工細菌兵器エイズの双方で現実に民族絶滅危機が進行、先進国報道はこの事実を無視!

(a)優生主義極右の{世襲超富豪, C I A, 政界官界}の指導集団がある。C I A創立になるナチ人材密輸作戦米施工人と其の継承者④(1)、

(b)情報発信源{科学-教育、報道言論}を監視-操作支配する。内部に意識無意識の気候変動隠蔽協力者(代理人, 諜報員)が居る。

(c)一般国民から気候変動危機への政治的疑義提出を抑える為に、二つの方法の可能性があり、目的は{自然回復-資本主義抑制}の回避工作、教育報道を大駆使して「地球温暖化、地球に優しい」などの用語を連発する事で危機深層を感知されないように大衆に誤解を吹き込む。

(d)真相認知の立場にある少数者である教育研究者-報道-行政-政治家には不良分子採用、地位脅迫、買収を通じて工作する。

(e)真相認知の立場にある指導者へ逆に、気候変動危機回避不可能性を暗示し、無用な国家社会混乱を避けるという沈黙良心化工作でだます。

(f)2009年現在の気候変動危機は生存破滅の分岐点瀬戸際に近いであろう、回避策は際どいだろうが、誰も不可能を証明しては居ない!

(g)米国, 日本等の権力が密室協議で、他の者は一切排除して相談なしで、人類命運を勝手に決めて良いのか!!!

補足事項：＜温暖化などでない、急峻、又は不可逆な破滅(IPCC2007)＝**北極海のメタン融解破滅問題**＞：

『推定埋蔵量 500～1000 ギガトン¹⁾、これが海底温度上昇²⁾での融解は二酸化炭素の数十倍強力な温度上昇に作用、それは更なる融解を促進、この結果が原因を促進する**正帰還循環**に一度陥ると、全量融解まで停止しない、其の時の地球は**6度C以上**(後に再論³⁾)の**火炎熱地獄**、熱細菌程度しか生き残らない』と申しあげたかったのです。

- (1)推定埋蔵量 500～1000 ギガトン¹⁾、承知如く北極海面は通常氷層があり、単純なボーリング調査が難しい要素があるのではないのか、推計値に大幅な広がりがあるのは統計標本調査数の少なさを意味、だが**最低 500Gt ギガトン**でも致命的、10Gt は産業革命以来の 100ppmCO2 濃度とはほぼ同効果(放射強制力=全球過剰熱入力=1.6W/m²≒0.02～0.03C/年上昇、現時点まで全球 1C 度上昇)、50 倍ならずとも炎熱地獄地球は明白!!!
- (2)Science dairy(英国)の要約報道では 2008 年の全世界海洋表面温度は**過去最高値(15.5C)**、これは過剰入力が続いている本質的証拠、問題は其の熱入力(年間増大率)経年変化グラフがないです。温度予言 E G T 方程式では**年間全球温度上昇**に關与する地球熱容量は水深 1000m に同値、この数字はメタンハイドレード埋蔵分布水深 200～1200m に不幸にも重なってしまう。1000m 深度への年間影響は(全球過剰熱入力(放射強制力))＝地球熱容量(全海洋水深 1000m 程度等価)X(全球年間温度上昇値=0.02～0.03C)から判明。海中は確かに熱容量膨大でそう簡単に短期で温度が上昇しないのが従来常識、だがそれは熱が一様に海底への仮説、其の保証はない。なぜならば海中最大の特徴は**乱流攪乱**、常時太陽-月引力での**潮干流と海底凸凹衝突**があるのです。メタンクラスレート融解での温度マージンは 1～2 度程度でしかない。
- (3)問題 E N D ゲーム首謀者は地球温度は 4 度程度でとどまり、20%程度人類は最終淘汰戦争に**ハイテク駆使**で生き残るとの試算仮定だろうが、500 ギガトンは北極圏だけであり、日本海にも中南米にも全球各所にある量は 10000 ギガトン?、其の放射強制力(過剰熱入力)は 10 ギガトン(現状炭素 105ppm、全球一度上昇)の 10 倍以上、6 度 C どころでない!。GHG 濃度で放射強制力は指数関数上昇のはず、彼らは大誤算で自滅策、

(4)北極氷層 2003～2009 衛星写真動画が以下サイト。世界最大熱貯蔵庫＝太平洋の膨大熱流が非常に狭い**ベーリング海峡**(幅 86km。深さ 30-50m)を強引に押し切る模様が見える。夏季に氷が薄くなり砕けて氷動流化、確かに冬季には表面回復だが其の底は毎年薄くなるばかり、全ては海洋熱流(最高温度赤道)の(地上最低温度)北極へ流入、これは単純に**熱力学第二法則**＝『**熱は高いところから低いところへのみ一途に流れる!!!**』。

*大西洋からの熱よりも圧倒するのは Animation of Arctic sea ice concentration(Jan 2003 to date; AVI format, ~ 20 MB)では明白に見えます。

<http://www.iup.uni-bremen.de:8084/amsr/amsre.html>このページを開き、其の最下行にカソル移動、Animation of Arctic sea ice concentration をクリック>特に 2007 年夏季最小面積注目、其の年前後に有力関係者複数が警告予言(6)。

- (5)全球 1 度上昇に対して熱流入最大の北極は其の **3 倍**に上昇、だから今後全球 0.3℃ 上昇だと北極圏は 1℃ 上昇、この状況だと北極夏季は**全面融解**(Dr Wieslaw Maslowski, 其の他, **2013 年全面融解予言**)、然るに日射量年間平均は常識通り、赤道直下が最大、だが常識に反して**白夜北極 0 緯度での夏季日照量最大値は赤道を上回る!**、<<http://www.geocities.jp/sqkh5981g/BP.html>>P23:Insolation-Function.pdf. だから夏季にあの膨大な北極氷層が短期間で半減する。以上事実を一度知ると簡単に全球 0.3℃ 度上昇を軽く見る事ができない!!! 日本も含む各国政府議論での今後 **1 度上昇許容**などは冗談にしか聞こえない。

(6)著名科学者、預言者の緊急警告：

注意:予言に元ずいて我等意思で未来変更は可能、これは予知性と矛盾に見える。歴史は 0 確率値の確率過程、実数 0 の矛盾性に由来→(k)。

(a)ブラジル人預言者 Jucelino Nobrega da Luz 氏(彼も予言に元づく我等意思での未来変更可能性を強調する!!)。

人類決意の最終期限 **2007/12/31 日**、**大自然**を壊した人間驕りと報いへの懺悔が強調されてる。2043 年 80% 人類絶滅予言。

(b)NASA 気候変動問題開拓者, Dr James Hansen。2006 年発言として**今後 10 年内**に成否が決まるとの趣旨、それに関連するのが以下、

(c)米国海軍大学、Dr Wieslaw Maslowski の**2013 年北極海全面融解予言**、

(d)山本良一教授「この **5 年**が勝負」の時に('07/8) : <http://www.pvc.or.jp/news/61-6.html>

2007 年は気候変動危機の一つの曲がり角年の模様で、其の都市の夏、**北極海氷層面積が最小値**に、関係者は動転した模様だ。以上発言は皆この年の前後に注目。

*無知筆者が緊急性を察知するきっかけは Jucelino 氏の 2007 年末 TV 出演予言。詳細要約は以下サイト、**2008 年代**の初作ページは修正が必要部分に注意、 <http://www.geocities.jp/sqkh5981g/JAPAN.Html>

(e)聖書ヨゼフの黙示録予言、突如の 1000 年至福王国実現/聖書、コラーンは重大です。

(f)古代中南米 2012 年人類破滅予言、近代日本の預言者警告も類似、

(g)神代隆、神の計画書/黙示録大予言、学研、1983<**秘密結社による人類滅亡計画の存在**>

(h)Jumping jack flash by the Rolling stones, 1968,

(i)Save the world by Marvin Gaye, in album "what's going on", 1971

(j)"Toward the flame" by Scriabin 1914.

(k)予言-超常現象の科学理論は**矛盾崩壊定理**(論理学)、**物理真空**の量子物理学根拠解説は

<http://www.geocities.jp/sqkh5981g/slavejapan.pdf>.

☞ : 地球表面積 x 年間時間 x 放射強制力(地上過剰入力 1.6Watt/sec.m²(IPCC)) = 地球熱容量 x 全球温度上昇/年間 (0.02~0.03℃/y).

GHG (温室効果ガス放射強制力) : CO2(100ppm) = 1.6W/m²; <年間 0.025℃ の上昇>

CH4(10GtC, 5ppm) = 1.5W/m², CH4(500GtC, 236ppm) = 13.34W/m². <この値のみ 10 年で 2.1 度、...>

気候変動科学を見ると {放射強制力, 地球熱容量, 年間温度上昇} の重大意味を理解してない文面が多い、メタン 500Gt~1000Gt の量は過去現実にあったペルミアン末期, P E T M 期での生命種メタン大絶滅相当。メタン理解はこの 10 年最近の話。彼ら当初計算になかったのだ。